

基礎演習 (数学)	NO 1		実施日	月	日
	組	番号	氏名		

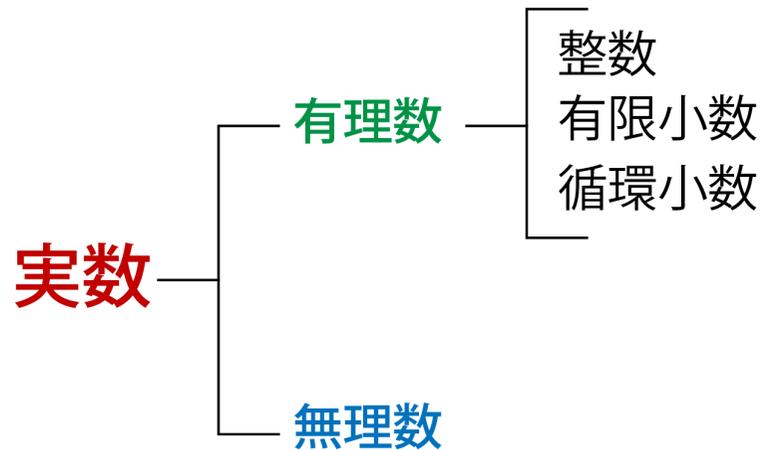
### 1-1、色々な数字

“数”にも様々な種類のものがあります。計算をする上でどの様な数字があるのか理解していないと計算することができません。ここでは、数字の種類に関して学びましょう。

実数…「普段私たちが使っている数」だと思ってもらってOKです。実数の中に様々な数字が含まれています。

有理数…分数で表すことができる数。(整数、有限小数、循環小数)

無理数…分数で表すことができない数。(  $\pi$ 、 $\sqrt{2}$  )



整数…小数点以下が0の数のことを言います。

整数には3種類あります。

⇒0

⇒正の整数(自然数)(例: 1, 2, 3, 4, 5, 6, …)

⇒負の整数(例: -1, -2, -3, …)

有限小数…終わりのある小数。(例: 1.12, 3.5, …)

循環小数…ある桁から先で同じ数字の列が無限に繰り返される小数。

(例: 0.3333..., 2.22343234234...)

※ 無限小数は無理数になります。

### 1-2、正負の計算

書いてある式通りに計算をしようとする、計算ミスをしてしまうことがあります。正負の計算が苦手な人は次のように考え、計算してみましょう。

◎  $-$  ⇒『ひく』ではなく、 $-$  ⇒『マイナス』として考える。

※ 数字の前についている『 $-$ 』『 $+$ 』は符号として考える。

例: 次の計算をしてみよう

$$\textcircled{1} \quad -7 - 4 = -11$$

考え方 ⇒  $-7$ 『マイナス7』と $-4$ 『マイナス4』の計算として考える

マイナスの数は全部で11個となるので計算した答えは  $-11$  となる。

$$\textcircled{2} \quad -7 + 4 = -3$$

考え方 ⇒  $-7$ 『マイナス7』と $+4$ 『プラス4』の計算として考える

マイナスとプラスは打ち消しあうので計算した答えは  $-3$  となる。

※ 同じ符号同士の計算は数字(絶対値)が増える。違う符号の計算は数字(絶対値)が減る。

◎ ( ) がついた計算をする時は正しく ( ) を外してから計算する

例:  $+(+2) = +2$ 、 $+(-2) = -2$ 、 $-(+2) = -2$ 、 $-(-2) = +2$

**同じ符号** が並んでいるときは ( ) を外すと『 $+$ 』になる。

**違う符号** が並んでいるときは ( ) を外すと『 $-$ 』になる

次の計算をしてみよう

$$\textcircled{1} \quad -6 + (-2) = -8$$

( ) を外す ⇒  $-6 - 2$  の計算となり答えは  $-8$  となる。

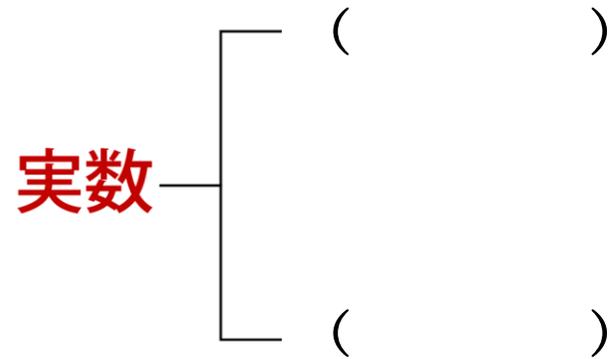
$$\textcircled{2} \quad -4 - (-5) = 1$$

( ) を外す ⇒  $-4 + 5$  の計算となり答えは  $+1$  となる。

※ 答えが『 $+$ 』の符号のつく数の場合『 $+$ 』を省略して答える。

次の問題に答えなさい。

1、次の図は数字の関係を表したものです。空欄を埋め、図を完成させましょう。



2、それぞれの数字の説明を書き、表を完成させましょう。

整数	
実数	
有限小数	
無理数	
有利数	
循環小数	

3、次の計算をしなさい。

①  $(+9) + (+7)$

②  $(+13) + (+9)$

③  $(-2) + (-6)$

④  $(-10) + (-3)$

⑤  $(+2) + (-6)$

⑥  $(-3) + (+8)$

⑦  $(+4) + (-16)$

⑧  $(-7) + (+15)$

4、次の計算をしなさい。

①  $(+3) + (-2) + (+8) + (-3)$

②  $(-2) + (+9) + (-5) + (+4)$

5、次の計算をしなさい。

①  $(+2) - (+4)$

②  $(-8) - (-7)$

③  $(+4) - (-4)$

④  $(+12) - 0$

⑤  $(+9) - (-13)$

⑥  $(+13) - (+7)$

⑦  $(-6) - (-16)$

⑧  $(-3) - (+5)$

⑨  $(-2) - (+6)$

⑩  $0 - (-17)$

6、無理数を3つ答えなさい。

--